

令和7年度 和歌山大学大学院教育学研究科専門職学位課程（教職大学院）

第一次入学試験問題・解答用紙 [小論文] (3枚の内の1)

受験番号

コース：授業実践力向上コース



令和4年に中央教育審議会が出た「第3次学校安全の推進に関する計画の策定について（答申）」において、「II 学校安全を推進するための方策」の「3. 学校における安全に関する教育の充実」の中で「(5) 現代的課題への対応」として、「学校安全の3領域に関する従来の学習内容に加えて、児童生徒等が被害に遭うSNSに起因する犯罪や、性犯罪・性暴力への対策については、現代的な課題として、安全教育の中で柔軟に扱うことも重要である。」と述べられている。

(問) 下線部の「児童生徒等が被害に遭う SNS に起因する犯罪」について、どのような犯罪が想定され、安全教育としてどのような指導が考えられるか、あなたの考えを 1200 字程度で述べなさい。

解答

A large grid of 20 columns and 20 rows of empty cells, represented by black lines on a white background.

コ 一 ス：授業実践力向上コース

【出題の意図】

下線部の「児童生徒等が被害に遭う SNS に起因する犯罪」について、ネット上の有害情報対策(SNS に起因する被害)を安全教育として実施し、それを学校安全計画に位置付けることが、答申では求められている (p.16)。また、情報モラルやサイバーセキュリティについても、啓発の必要性が指摘されている。

児童生徒は、スマートフォンやゲーム機を通じて不特定多数の他者と接触する可能性があることを念頭におき、具体的に犯罪に巻き込まれた事例や巻き込まれそうになった事例や、SNS への投稿によって「炎上」し、個人情報が特定された事例などをもとに、インターネット接続の危険性について考察する機会を持つ等の指導の機会をつくることなどの記述が求められる。